

現地の声聞き 要望実現へ

胆振東部被災支援を 農水大臣、内閣府政務官へ

6日、真下議員は、紙智子参議、岩淵友参議、はたやま和也前衆議とともに、胆振東部地震の復興支援を求めて、吉川貴盛農水相、内閣府の舞立昇治政務官に要請しました。

農水省では、吉川貴盛農水相が応対。財政と人的な支援など省庁で連携し大規模な山腹崩壊をきたした森林復旧と、林業再建への支援、資材高騰や業者不足対策を強く申し入れました。吉川農水相は「まず山林の回

復が必要。必要となれば財政的人的にしっかり協力していく」と応じました。

内閣府では長期化する住宅債権問題について「やれることを拡げていきたい」と前向きな姿勢が示されました。



街頭から道政報告



土曜日の議会報告では、消費税増税は7月でも道条例改定によって中止できると確認したことを報告。新知事の政策予算が提案される第2回定例道議会は6月20日〜7月12日までの予定です。真下紀子議員は一般質問、宮川潤議員と菊地葉子議員が予算特別委員会の予定です。

国交省説明できず

赤字新幹線に120億円追加投資効果不明 40億円の運賃負担・廃線「押し付け許されない！」

6日、日本共産党道議団は、政府に対し、胆振東部地震の復興支援、地方路線維持、国保料の平準化を強制しないことなど48項目を各省庁に要望しました。紙智子参議、岩淵友参議、はたやま和也前衆議らと、北海道の現状を伝えJR北海道の経営姿勢を質しました。

納得できません！



議員会館で国土交通省鉄道局に説明を求める真下議員

真下紀子議員は、JR北海道が表明した「北海道新幹線5分短縮のために120億円を追加投資」する効果を示してほしいと説明を求め、JR北海道が経営自立するという2031年以降、新幹線が札幌延伸によって500億円増収を見込む根拠を質しました。

鉄道局は投資効果について説明できないばかりか、「500億円の増収発言はJR北海道の島田社長が言ったことで、あずかり知らぬ」と無責任な答弁を繰り返しました。

真下議員は、監督命令を出し



ている鉄道局に責任があるとのべ根拠を示すよう確認しました。

40億円規模の運賃改定で利用者に負担を強いる一方、道議会にも説明することなく、120億円の投資を一方的に表明し、効果も説明できないのでは、「到底納得できません」と強く抗議し説明を求めました。

性暴力被害

3年間で相談1257件、公費負担206件

道公費医療負担「できるだけ早急に実施」表明

3月議会で、性暴力被害者支援センター北海道「SACRACH」(さくらこ)に相談した場合、医療費が公費負担の対象外となっている問題を明らかにした真下議員。4日の環境生活委員会でも早急に公費負担実施を求め、道は「できるだけ早急に実施」を表明しました。

2017年、性的暴行を告発した「#MeToo」をきっかけに

性暴力の告発が広がりました。内閣府の調査(14年度)では男性から無理やり性交された経験を持つ女性



は15人に1人にのぼっています。

「性暴力は本人の望まない性的意味合いをもつすべての行為」、明確に説明した道は、性暴力被害ワンストップ支援センター「さくらこ」への相談が、16年度から18年度まで3年間で951件にのぼっていると答弁しました。

真下議員は、道警の資料により、同じ時期、道警の性犯罪被害110番への相談が306件、医療費等公費支出は206件で353万円だったと示しました。性犯罪・性暴力に

関する道と道警への相談件数が3年間合計で1257件にのぼっていたことを初めて明らかにしました。

公費負担の導入を協議中と答える道に実施時期を再質問。道は、「できるだけ早急に導入できるようにすめる」と答えました。

真下議員は性犯罪は加害者が悪いのであって被害者は悪くない、「相談を」というメッセージを強く求めました。

16年度から18年度「さくらこ」110番の相談件数 総計1257件			
	さくらこ 相談件数(道)	性犯罪被害相談 110番(道警)	医療費等公費支出 (道警)
2016年度	348件	92件	73件 121万円
2017年度	248件	97件	64件 116万円
2018年度	355件	117件	69件 116万円
合計	951件	306件	206件 353万円

**駅前タクシー乗り場調査・改修実現へ
車いすも安全に乗降しやすく**

乗り降り「不便で危険」の声

旭川市内でタクシーの乗降が最多といわれる駅前タクシー乗り場と



ころが、歩道と車道の間の縁石が高くてタクシーの乗り降りが大変、車椅子の利用者も困っているという声が、真下議員に寄せられました。

7日、さっそく真嶋隆英市議と旭川市土木部と現場を調査しました。タクシーの乗降整理をしている方々やドライバーからお話を聞くと、「タクシーに乗る時につまずいたりタクシーにつかまって乗らなければならぬ。大変だし危い」と次々と声が出ました。現場を確認した市土木部は、安全確保のためタクシー乗り場の先頭車部分の縁石を低くする改善計画を示しました。

車椅子の乗降にも改修対応

調査の中で一般車両から車椅子で乗降する場合も大変苦勞することが

わかりました。車椅子用スロープ前の縁石も低く改良する必要があると、市土木部が改修を提案。乗降整理の方々も「これで乗りやすくなり安全になる」と歓迎していました。真下議員はタクシー乗り場の先頭表示も提案。「旭川の玄関口、安全で利用しやすくなってほしいです」と話しています。

昨年、一条買物公園のタクシー乗り場の路面がデコボコになっていて発進・停車のたびに車体が大きく揺れて、危ないので改善できないものかと真下議員に相談がありました。



市議団と協力して路面改修が実現しました。そのことがわかり、真下議員への相談につながりました。